

問題1.「段取り上手」

ある学校では、各クラスの体育委員により構成される体育祭実行委員会が体育祭の実施を司っている。工程表が以下であるとき、次の各問に答えよ。

問1. 下記の工程表のAからOまでを実施するとき、活動日に制限を設けない場合の活動開始から活動終了までの最短日数を求めよ。

	作業工程	先行工程	作業日数
A	開催の検討	-	5
B	会場の選定	A	7
C	招待客の確認	A	14
D	希望種目のアンケート実施	A	5
E	体育祭の内容の検討	B,D	10
F	出場人員の取りまとめ	E	10
G	用具の借り入れ	E	8
H	体育祭の練習①	F,G	10
I	プログラムの作成・印刷	F,G	14
J	賞品の選定	F,G	15
K	体育祭の練習②	H	10
L	会場の飾り付け	C,I,J,K	2
M	弁当の手配	C,I,J,K	1
N	体育祭の当日	L,M	1
O	会場の後片付け	N	1

※解答作成上の注意。

- 結論を最初に明示すること。例えば、
問1ならば「最短は〇〇日」
問2ならば「第1回開催検討委員会開催は〇月〇日以前とする。」
- 求めた結論が最もふさわしいことがわかる様に、根拠を明らかにすること。
- 工程の流れがわかるように、適切な図、表を作成すること。
- なお、問1、問2ともに、各工程は、先行工程がすべて完了した翌日を開始日とする。

問2. 下記の諸条件のもとで、今年2015年10月8日（木曜日）に体育祭を実施する場合、第1回の委員会（開催検討委員会）は遅くとも、何月何日より以前に実施しなければならないか考察せよ。

条件

1. 一般生徒の活動は、平日（月曜日から金曜日）に可能であるが、定期試験期間（中間試験5月19日から5月22日、期末試験7月1日から7月6日）および定期試験前1週間、夏休み期間（7月19日から8月31日）は活動不可とする。
2. 体育委員による委員会開催・工程作業は、平日の他、土曜・日曜・祝祭日も可能であり、夏休み期間（7月19日から8月31日）も同様に可能であるとする。しかし、定期試験期間（中間試験5月19日から5月22日、期末試験7月1日から7月6日）および定期試験前1週間は活動不可とする。
3. 作業工程の遅延を考慮して、平日10日を予備日として算入すること。
4. 人員を多数投入しても、作業工程日数に変動はないものとする。

	作業工程	体育委員	一般生徒	先行工程	作業日数
A	開催の検討	○		-	5
B	会場の選定	○		A	7
C	招待客の確認	○		A	14
D	希望種目のアンケート実施		○	A	5
E	体育祭の内容の検討	○		B,D	10
F	出場人員の取りまとめ		○	E	10
G	用具の借り入れ	○		E	8
H	体育祭の練習①		○	F,G	10
I	プログラムの作成・印刷	○		F,G	14
J	賞品の選定	○		F,G	15
K	体育祭の練習②		○	H	10
L	会場の飾り付け	○		C,I,J,K	2
M	弁当の手配	○		C,I,J,K	1
N	体育祭の当日	○	○	L,M	1
O	会場の後片付け	○	○	N	1